

(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	南 里樺	実践日	令和3年11月10日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	福祉・社会福祉基礎		
対象生徒(学年等)	普通科2年・キャリア探求科2年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	障害者福祉		
使用したアプリ等	Google スライド、ジャムボード、スプレッドシート、classroom		
実践の概要(ねらい等)	福祉科と家庭科の教科横断型授業。生徒は家庭科(家庭基礎)で、子どもの発達と保育について学び、幼児の発達段階の特徴について理解している。福祉科(社会福祉基礎)では、障害者福祉について学んでいる。そこで、幼児の年齢や発達段階を考慮して、障害のある幼児を対象とした絵本の作成を通して、障害の特徴についての理解を深め、問題発見能力の育成を目指す。		
実践の内容			
(1) 本時の目標・手順・達成基準の確認 ○教員説明(スライド:「目標・手順・達成基準」)			
(2) 視覚障害や聴覚障害のある幼児を対象とした絵本の考察 ○Google ジャムボード(図1)に生徒の意見を記入させる ・全体で意見を共有する			
(3) 年齢や発達段階に応じた内容を考察 ・(2)で出た意見を参考に、工夫を凝らす(図2、3)			
(4) 手作り絵本を作成・提出 ○Google スライドで絵本の評価規準を確認する ・絵本の作成・提出【課題】			
(5) 本時の振り返りと今後の予告 ・絵本の内容、提出期限を再確認 ・今後は作成した絵本を発表する ○発表時はclassroomから配布した評価シート(スプレッドシート)に記入			
参考となるHP等			



図1

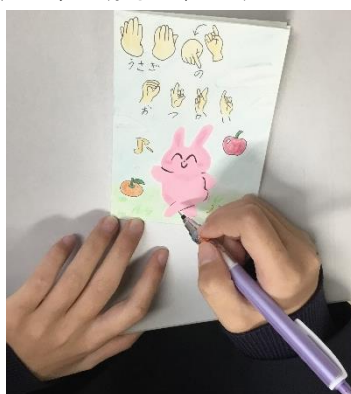


図2



図3

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)